



交流拠点都市
美祢市
MINE CITY

みね 議会だより

第37号 令和2年(2020年) 12月1日発行



秋芳桂花小学校マーチングバンド

主な内容

- 審議された議案等 2~6
- 新庁舎等建設特別委員会(中間報告)/ 山口県市議会議長会臨時総会開催 7
- 一般質問 8~15
- 12月定例会の日程・編集後記 16

令和2年第3回(8月)美祢市議会臨時会

会期：8月12日(1日間)

第3回臨時会は8月12日に開会し、災害復旧に係る補正予算とGIGAスクール構想実現に向けた児童生徒1人1台のタブレット端末の購入に係る議案、計2議案について審議しました。

議案の主な内容等については、以下をご覧ください。

○令和2年度美祢市一般会計補正予算(第6号)

本年7月の梅雨前線豪雨により被災した農業用施設や土木施設の災害復旧に係る緊急に必要な経費を追加するものです。

補正予算総額 6,525万5千円

【内容】 農林施設災害復旧費(計42件) 1,450万8千円
土木施設災害復旧費(計24件) 5,074万7千円

○財産の取得について

国が進める「GIGA(ギガ)スクール構想」の実現に向け、ICTを活用し学びを保障するため、児童生徒1人1台の学習用タブレット端末を整備するものです

【内容】 GIGAスクール用端末(WindowsOS)一式 1,393台 6,665万5,050円

☞ GIGAスクール構想とは？

児童生徒1人1台の学習用端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、子どもたち一人一人に、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現する構想。

問 地域ごとの通信回線の状況はどうなっていますか。

答 美祢地域・秋芳地域においては、山口ケーブルビジョンの光回線が敷設されているため、高速大容量の通信が可能です。

美東地域においては、大田小学校及び美東中学校は、美東総合支所から光回線を延長することで、高速大容量通信が可能となりますが、美東地域の他の小学校については、現在対応を検討しています。



タブレットを使用した授業風景

問 今後、どのようにGIGAスクール構想を実現していかれますか。

答 各学校のICT担当教員と連携し研修会を開催するなど、指導体制の整備や学力向上につながる活用に向けて準備を進めています。

また、AI型学習教材ソフトの導入も検討しており、効果が認められれば、来年度の本格導入に向けて進めていきたいと考えています。

■第3回臨時会議決結果 全会一致で可決

補正予算(1件) ●令和2年度美祢市一般会計補正予算(第6号)

その他(1件) ●財産の取得について

令和2年第3回(9月)美祢市議会定例会

会期 9月8日～10月13日(36日間)

第3回定例会は9月8日に開会し、新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算や条例の改正に係る議案について審議しました。

また、9月24日に令和元年度一般会計・特別会計決算の認定に係る議案等が追加提出されたことから、これらの審議を行うため、会期を10月13日までの17日間延長しました。

今期定例会では、市長提出の21議案を可決・認定し、議員提出意見書1件を可決しました。各議案の主な内容等については、以下をご覧ください。

○令和2年度美祢市一般会計補正予算(第7号)

新型コロナウイルス感染症への対策経費など、緊急に必要な経費を追加するものです。

補正予算総額 1億1,821万6千円

【補正予算の主な内容】

花き・野菜等経営継続支援補助金

(925万円)

新型コロナウイルス感染症の影響で売上げが減少した生産者に対し、次期作に向けて必要となる生産経費の一部を補助するもの。

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業

(4,240万円)

感染症に対する緊急経済対策事業費や休業や閉鎖をした施設の運営事業者に対して支援するもの。

○令和2年度美祢市一般会計補正予算(第8号)

今後の行政サービスを推進するうえで緊急に必要な経費を追加する一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い今年度実施できない事業の経費を減額するものです。

補正予算総額 8,347万9千円

【補正予算の主な内容】

みね健幸百寿プロジェクト推進事業

(625万2千円)

令和3年度からの事業実施に向け、事業戦略とアクションプラン策定のためのアドバイザリー業務に係る経費。

本社機能等移転促進事業補助金

(100万円)

県外から美祢市内に本社機能を移転する企業に対して、移転する雇用者1人当たり50万円を補助するもの。

新規就農者支援対策事業 (186万円)

- ①現地就農体験者を受け入れた法人に対し、指導農家として支援を行うもの。
- ②県外から本市に移住し、現地就農体験を行う者に対して生活費支援を行うもの。

小中学校閉校記念事業補助金 (50万円)

今年度末に閉校する重安小学校の閉校記念事業に対する補助を行うもの。

秋吉台サイクルツーリズム推進事業補助金

(256万円)

(一社)美祢市観光協会が実施するレンタサイクル事業の電動運転バイク購入費に対し補助するもの。

減額した主な予算

中学生海外派遣事業、音楽祭、文化祭、美祢社会復帰促進センター矯正展、秋吉台カルストロードレースなど、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった行事やイベントに係る経費。

○令和2年度美祢市一般会計補正予算(第9号)

新型コロナウイルス感染症への対策経費など、緊急に必要な経費を追加するものです。

補正予算総額 1億2,659万3千円

【補正予算の主な内容】

ICT化推進事業

(総務費1,045万3千円、教育費2,300万4千円)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、「新しい生活様式」に対応した取り組みを行うための経費。

- ①ウェブ会議等を実施するための環境整備
- ②市民サービスの利便性向上のため、総合支所や公民館、コミュニティセンターなど、計48か所にWi-Fi機器の整備

地域外来・検査センター運営事業

(850万9千円)

新型コロナウイルス感染症の感染が疑われ、PCR検査を必要とする患者が、迅速かつスムーズに検査が受けられるよう、地域外来・検査センターを設置及び運営に係る経費。

問 センターの設置場所や検査時間等についてお伺いします。

答 場所は、美祢郵便局前にある元美祢地方卸売市場で、11月から祝日を除く毎週火・木曜日(10時から正午)に検体を採取します。

まずは、かかりつけ医に相談され、PCR検査が必要であると判断された方は、かかりつけ医からセンターの予約をすることとなりますので、個人の方が直接センターで検体の採取をすることはできません。



地域外来・検査センター設置場所

予防接種事業 (1,770万2千円)

重症化リスクの高い高齢者、妊婦、基礎疾患のある方及び中学生・高校生の接種希望者に対して、インフルエンザ予防接種の費用を無料化するための経費。

問 10月13日以前に予防接種を受けた市民も、無料化の対象となるのでしょうか。

答 すでに支払いをされた方については、償還払いという形でお返しする方法をりたいと考えています。

商工業活性化事業 (3,360万6千円)

割増率30%のプレミアム付商品券を12月から新たに1万セット販売することに伴い、事業実施主体である美祢市商工会に対し補助するもの。

問 前回のプレミアム付商品券は、市民から「買えなかった」という声が多く聞かれました。

欲しい人に行き渡るような販売方法の工夫についてお考えでしょうか。

答 販売開始時期等を市民の皆様にしかりと周知するとともに、販売方法についても、商工会と十分連携を取りながら工夫してまいります。

その他

問 補正予算の主な財源は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金と思いますが、本市への交付限度額と補正予算(第9号)後の留保額についてお伺いします。

答 本市への交付金の総額は5億9,255万7千円で、補正予算後の留保額は6,522万4千円です。

○美祢市廃棄物の処理及び清掃に関する条例等の一部改正等について

1市2町の合併後、一般廃棄物の処理については、旧市町のルールを継続して適用していましたが、①市民サービスの均一化、②市民負担の公平化、③持込手数料の適正化による廃棄物の減量・リサイクルの推進の3点を目的として、関係条例の改正等を行いました。

主な変更点 ※令和3年4月1日から施行

①家庭ごみの収集

			美 祢	美 東	秋 芳
収集回数	固形燃料化 できるごみ	現行	週2回	週2回	週3回
		統一	週2回(祝日も収集日とする)		
缶 類	缶 類	現行	月1回	月1回	月2回
		統一	月1回		
収集方法	びん類	現行	指定収集袋	コンテナ	コンテナ
	缶 類				リサイクル ステーション
	衣 類				
	上記すべて	統一	無色透明の袋	現行どおり	

その他の詳しい変更内容については、市報「げんき、みね。」11月号または美祢市ホームページをご覧ください。

②廃棄物処理施設(不燃物施設)

基本的な受付時間(全施設) 午前9時～午後4時
持込手数料(全施設) 家庭ごみ 100キログラムにつき 400円
事業系ごみ 100キログラムにつき 1,200円

問 合併後10年以上が経過しましたが、廃棄物処理に関するこれまでの改正状況についてお尋ねします。

答 廃棄物処理については、旧市町の間でもかなりの違いがあり、統一できるところは少しずつ統一をしてきました。

しかし、家庭ごみの出し方や収集回数については、市民生活に与える影響が大きいため、慎重に検討する必要がありました。

サービスの不均一、不公平が継続することから、平成30年3月に廃棄物減量等推進審議会に廃棄物処理の統一について諮問し、審議会での審議を経て、本年4月に答申を受けたところです。

問 秋芳地域は収集回数が減ることになり、不安の声もありますが、どのように対応されるのでしょうか。

答 秋芳地域では、これまで祝日の収集を行っていませんでしたが、今後は祝日の収集も行うため、祝日や連休なども柔軟に対応していきたいと考えています。

また、集積所の増設に対する補助金交付制度を創設し、対応したいと考えています。



○議員提出意見書案第1号「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う 地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は戦後最大の経済危機に直面しています。地域経済にも大きな影響が及んでおり、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっています。

地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応はじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想されます。

このことから、地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保することなどについて、内閣総理大臣等に対し意見書を提出しました。

■9月定例会議決結果

●は全会一致で可決・認定、○は賛成多数で認定(◎は報告のみ)

報 告 (2件)

- ◎令和元年度の決算に係る健全化判断比率について
- ◎公営企業の令和元年度の決算に係る資金不足比率について

条 例 (2件)

- 美祢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 美祢市廃棄物の処理及び清掃に関する条例等の一部改正等について

決 算 (11件)

- 令和元年度美祢市水道事業会計決算の認定について
- 令和元年度美祢市公共下水道事業会計決算の認定について
- 令和元年度美祢市病院等事業会計決算の認定について
- 令和元年度美祢市一般会計決算の認定について
- 令和元年度美祢市国民健康保険事業特別会計決算の認定について
- 令和元年度美祢市観光事業特別会計決算の認定について
- 令和元年度美祢市環境衛生事業特別会計決算の認定について
- 令和元年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計決算の認定について

- 令和元年度美祢市農業集落排水事業特別会計決算の認定について
- 令和元年度美祢市介護保険事業特別会計決算の認定について
- 令和元年度美祢市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について

補正予算 (6件)

- 令和2年度美祢市一般会計補正予算(第7号)
- 令和2年度美祢市病院等事業会計補正予算(第3号)
- 令和2年度美祢市一般会計補正予算(第8号)
- 令和2年度美祢市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 令和2年度美祢市観光事業会計補正予算(第2号)
- 令和2年度美祢市一般会計補正予算(第9号)

そ の 他 (2件)

- 令和元年度美祢市水道事業剰余金の処分について
- 和解及び損害賠償の額を定めることについて

議員提出意見書 (1件)

- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新庁舎等建設特別委員会（中間報告）

美祢市議会では、令和2年5月11日に新庁舎等建設特別委員会を設置し、新本庁舎及び新総合支所の建設に係る調査を行っています。

新本庁舎の建設については、市長及び執行部からの説明を受け、延べ床面積を必要最低限にすることや建設費を20億円程度にすること、社会福祉協議会の複合化は行わないことなどの方針を確認しました。

これまでの新本庁舎建設に係る調査結果を、第3回（9月）定例会初日に中間報告しました。中間報告の主な内容は、以下のとおりです。

- （1）新本庁舎については、耐震化による改修等の可能性について調査を行ったが、耐震性の確保をはじめ、市民サービスの向上やバリアフリー問題など、現庁舎が抱える課題の抜本的な解決にはつながらないため、建替えに向け事業を進められるよう判断した。
- （2）新本庁舎の建設財源については、合併推進債や過疎対策債の活用など財政負担の軽減を図るよう検討した結果、合併推進債を活用すべきとの判断に至った。したがって、合併推進債の期限に間に合うよう準備を進められたい。
なお、引き続き有利な財源の把握に努め、議会に対しても逐次情報提供されたい。
- （3）新本庁舎の建設場所については、仮庁舎を建てずに現庁舎を使用しながら新たに建設すること、また新耐震基準を満たしている第1別館を活用していくことが適切と考え、現庁舎と第1別館の間に建設することが望ましいと判断し、現在執行部が示している案に従い検討を進められたい。
- （4）新庁舎の規模や形状については、委員から様々な意見が出ているため、今後の検討に際しては配慮されたい。

山口県市議会議長会臨時総会が開催されました

今年度、本市議会は山口県市議会議長会の会長市として、議長会の運営を行っています。

本組織は、県内市議会の正副議長で構成され、市政に関する諸般の事務を研究し、自治体の市勢向上・発展に資し、併せて相互の親善を図ることを目的に設置されたものです。

令和2年10月2日（金）に美祢グランドホテルにおいて令和2年度臨時総会を開催し、事前の検温やマスクの着用、手指やマイクの消毒、席ごとのアクリル板設置など、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しました。

臨時総会では、正副議長の紹介や提出された議案について審議し、可決された議案2件については、中国市議会議長会へ提出しました。



山口県市議会議長会臨時総会



(無所属)

 おかむら
岡村 たかし
隆 議員

1 人口減少・財政問題への今後の取り組みについて

問 現在、多くの市町において人口減少や財政的に困難な状態が進行しています。その対策として本市では「経営感覚をもった行財政運営の推進」を行うと目標にありますが、取組やお考えについてお伺いします。

答 本年4月1日における本市の人口は2万3,720人、高齢化率は42.3%（全国平均28.4%）で、合併時の平成20年3月と比較すると、人口で6,102人減少、高齢化率で10ポイント増加しており、特に昨年度の出生者数は76人と半減しています。

今後、市民の生活様式や行政へのニーズは多様化し、行政サービスも多岐にわたる一方、歳入の減少等、大変厳しい行財政運営になると認識しています。

さらには、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の停滞により、財政運営が厳しさを増すことが予想されます。

限られた経営資源を最大限に活用し、選択と周知を図り、本市の施策や事務事業の効果、効率性等を常に意識した行政改革や行政評価を推進し、スリムで筋肉質な行財政運営を進めていく考えです。

問 新たに設備投資をするだけでなく、既存の施設の収入面も含めた有効活用が大変重要であると認識していますが、お考えをお伺いします。

答 市が所管する社会教育施設は26か所、社会体育施設は41か所あり、市民が生涯にわたり学習やスポーツを続けることで、健康で豊かな充実した生活を送る目的として設置しています。

この度スタートさせた健幸百寿プロジェクトにおいても、その効果を発揮すると考えており、既存施設の有効活用について、運営手法、活用方法を費用面も含めて検討していきます。

問 観光資源の収支を含めた活用についてお伺いします。

答 観光事業会計の主たる収入源は秋芳洞・大正洞・景清洞の観覧料収入であり、これまで3洞共通券の販売や各種割引等を行ってきましたが、現時点ではコロナ禍の影響もあり、なかなか入洞者数が増加傾向に転じていない状況です。

今後は、本質的な魅力と価値を効果的に伝えていくとともに、見る観光から体験する観光にシフトすることも考えています。

秋吉台においても観光消費の面では課題があり、一過性ではなく、恒常的に観光消費額を押し上げるための新たな体験プログラムの造成や効果的なプロモーション、施設整備等を進め、収益力の強化を図ってまいります。

問 来福台は既に整備済みであり、その活用は人口減少や税収において大変重要であると考えますが、今後の取組についてお伺いします。

答 本市の持続可能性を高める上で定住対策が必要であり、市分譲宅地の積極的な販売促進を図り、選ばれる自治体を目指し、マーケティング戦略による検証を進めてまいります。

若年層の主な情報収集手段であるウェブに特設サイトを新設するとともに、市報10月号の配布に併せ、チラシを全戸配布します。

問 夜間の交通手段の減少は、地域のにぎわいや急な受診など、市民の安心な暮らしを守る上で重要ですが、その対応についてお伺いします。

答 夜間の飲食等に際しての不便さについては課題として認識しており、これまで県やタクシー事業者と解決に向けての方策を検討してきたところです。

アフターコロナも見据え、今後も引き続き、タクシー事業者、飲食店を運営されている方、そして県も併せて引き続き検討してまいります。



(みらい)
藤井 敏通 議員

1 空き家対策の現状と今後の取り組みについて

(1) 空き家の有効利用(空き家バンク)について

問 本市では急激な人口減少が続いており、至る所で空き家が目立ってきています。放置空き家は景観を損ねるだけでなく、市民の気概をも削いでしまいます。

一方、コロナ禍で、都会から自然豊かな田舎に住んでみたいという人も増加しています。

空き家バンク制度と登録の現状についてお尋ねします。

答 空き家バンクの制度は、利用可能な空き家等の有効活用と定住促進による地域活性化を図る観点から設けた制度であり、住宅の修繕・補修や家財道具等運搬・廃棄、清掃等の費用の補助制度があります。

現在の登録件数は19件で、これまでの延べ登録件数160件のうち124件は住宅として再活用されています。

空き家バンク登録件数	
現状	19件
(延べ)	160件
(内)再活用	124件

(2) 放置空き家の対応について

問 本市における放置空き家の対応についてお尋ねします。

答 美祢市空家等対策計画の策定に当たり、空家等実態調査を行った結果、1,337件の空き家が確認されました。さらに、ランク別に分類したところ、老朽度や危険度が高い空き家が223件あり、このうち特に危険性の高い空き家が86件確認されたところ です。

現在、特定空き家に3件指定しており、所有者等に指導書を送付しています。そのうち1件は、美祢市危険家屋除却推進事業補助金を活用して、すでに建物を除却されています。

法律に定める助言、指導、勧告を行った場合には、この補助対象にできないこととなっていますので、そうならない前にこの補助金を活用して、危険家屋等の除却を行っていただきたいと考えています。

美祢市における空き家実態

(美祢市空家等対策計画より)

(空家等実態調査(H29.7.19～H30.3.20))

調査件数	2,191件
空き家数	1,337件
(内)利用可能な空家等	1,051件
危険な空家等	223件
(うち倒壊の危険性がある空家等)	86件
判定不可	63件

(3) 空き家対策に関する2つの提言

① 空き家対策室(仮称)の設置と空き家のデータベース(DB)化

問 現状では、空き家の有効活用(空き家バンク)と放置空き家の処分は別々の課で管理されていますが、空き家のDBを構築して一元管理することで、業務の効率化と成果が期待できるのではないのでしょうか。

答 平成29年に美祢市空家台帳システムを構築し、現在、空き家情報を共有化しています。

今後、地域包括ケアシステムの構築に向け、福祉政策とも関連させながら、より効率的・効果的な組織運営、組織体制を構築してまいります。

② 相続前の「空き家バンク登録」の推進

問 相続前から空き家バンクに登録することを積極的に推進してはどうでしょうか。

答 事前登録については、福祉政策の観点からも有効な方法だと考えますので、前向きに検討したいと思えます。



(純政会)
つばい やすお
坪井 康男 議員

1 美祢農林開発(株)の今後の在り方について

問 事業開始以来、すでに10年以上経過していますが、設立以来ずっと大幅赤字経営が続き、事実上行き詰まり状態となっている美祢農林開発(株)を今後どのようにされるのでしょうか。

答 2つの第三セクターである美祢観光開発(株)及び美祢農林開発(株)のそれぞれの経営環境の精査、事業内容の見直しと運営の方向性を吟味し、両者の経営統合に向けた検討を進めたいと思っています。

その中で、竹箸製造の刑務作業の今後の方向性を併せて吟味し、一体的な解決のため、なるべく早い段階での結論をめざし、鋭意努力してまいります。

2 地域循環共生圏構築検討事業について

問 本事業は、『市内の木質バイオマスエネルギーの地産地消システムの構築と、その取り組みを端緒に秋吉台の保全など、地域の環境・経済・社会面での波及効果をもたらす地域環境共生圏構築に向けた仕組みを検討する』となっていますが、進捗状況についてお伺いします。

答 本事業については、昨年度、環境省の補助事業を活用し、実現可能性調査を行ったところです。

今年度も補助事業に応募し、8月20日付で事業採択の結果通知があり、8月31日に補助金交付申請の手続きを行い、9月2日付で交付決定がなされ、実質的な事業の着手に入りました。

「秋吉台の保全・地域循環共生圏構築に向けた木質バイオマス熱利用面的導入実行計画策定事業」においては、パイロット事業の設備導入

に向けて、設備の基本計画を策定することとしています。

また、「木質バイオマス熱利用面的導入に向けた協議会運営・事業化体制構築支援事業」においては、美祢市木質バイオマス利用推進協議会を開催し、関係者間での協議を行うとともに、理解醸成を図るための勉強会を開催することとしています。

3 森林環境整備事業の進捗状況について

問 森林環境譲与税を活用し、市内の森林整備・人材育成を図る事業の進捗状況についてお伺いします。

答 ①ソフト面：森林経営管理法に基づき、森林所有者が自ら管理できない森林や、森林所有者が不明な森林等を集積・集約するための事前調査業務を行っています。

②ハード面：多目的作業道開設事業により、作業道の開設・維持管理に係る事業に補助金を交付することとしており、今年度は3路線の作業道開設に対して補助を行うこととしています。

③人材育成を図る事業：新規就業者が林業を体験する事業を行う予定にしています。

また、新規に就業された林業者に対し、家賃補助、資格取得に係る経費の補助、林業用機械等購入経費の補助を行うこととしており、今年度は資格取得については3名、機械等購入については2名に対し補助を行っています。

4 新型コロナウイルス禍対応の基本的視点について

問 新型コロナウイルス問題に向き合う市長の基本的な心構え・姿勢についてお伺いします。

答 新型コロナウイルス感染症の今後の状況が不透明ではあるものの、本市においては、市民の皆様の安全・安心の確保と地域経済への影響の抑制との両立を図り、さらにはICTを活用した新たな生活様式等、時代に即した施策に取り組み、このコロナ禍を市民の皆様とともに、一丸となって乗り越えていきたいと思っています。



(日本共産党)
やました やすのり
山下 安憲 議員

1 コロナに強い「美祢モデル」の構築と課題について

問 教職員の負担軽減について、どうお考えですか。

答 コロナ禍の状況において、これまでに経験したことのない初めての業務に取り組み、多忙を極めています。

教職員の負担軽減のために、学習支援の臨時職員を延べ4人追加配置する予定です。

問 市長の政策である公設塾について、調査は現在どのくらい進んでいますか。

答 公設塾の先進地事例として、県内外4町の授業を視察し、調査研究に基づき、本年度内に制度設計し、準備が整い次第、モデル地域での開設、運用を図ります。

問 美祢市の理想に近い学級編成及び教育体制を全国に知ってもらって、定住戦略などに活かしてはどうですか。

答 児童生徒一人ひとりに寄り添った教育を引き続き実施して、魅力ある教育のまちの実現を図り、美祢市の教育環境を積極的に定住促進・移住促進につなげたいと考えます。

問 コロナ禍における市立2病院の存在意義についてお尋ねします。

答 まず第一に、一般医療・救急医療の提供を今までどおり制限なく行っていくことです。

そして第二に、新型コロナウイルス感染症に対する取り組みにおいて、専用病床を市立2病院ともが確保し、一定の役割を担っていることです。

問 このような中、医療従事者の負担はいかなものでしょうか。

答 医療従事者に限らず、病院職員は院内感染を招くことがないように、公私ともに常に緊張を強いられ、その負担は非常に大きいものとなっています。この負担を労うため、特殊勤務手当を創設します。

何よりも、市民の皆様には、病院業務に従事する職員を応援していただきたいと思います。

問 市民の体調がすぐれないとき、病院はどういった初動から対応してくれますか。

答 病気の方は何も気にされずに受診してください。コロナに関するある一定の症状があって、先に市立2病院に連絡があった場合は、必要に応じて県の相談ダイヤルを御案内します。電話をされた方に不安と誤解を与えない丁寧な説明を心がけるよう、再度職員に周知徹底してまいります。

問 市立2病院を美祢市の魅力として、定住戦略にできないでしょうか。

答 他市から、ぜひ働きたいと志願されるような、また市民が心から誇れるような病院にしたいですし、市内に公立病院が2つもあるということは、移住選択の大きなアドバンテージなので、積極的に情報発信してまいります。

問 美祢市において、民間企業とタイアップして、商品作物を生産している農家はありますか。

答 市独自の事業として、六次産業化推進事業によるブランドの育成のための支援、ミネコレクションの販路確保のための情報発信、美祢社会復帰促進センターへの農産物供給があります。

問 美祢市の安定雇用を生む食品加工業者の誘致と、地元の農家との連携は再現性がありますか。

答 地理的好条件と農産物の高付加価値化を踏まえても、食品加工業等業者の誘致は必要です。

問 比較的災害が少ない美祢市で、基幹産業である農業を推し進めて、安全・安心な食を売りに定住戦略に使ってははどうですか。

答 前向きに農業に取り組む新規就農者への経済的支援・サポート体制により、農業で人を呼び込む体制を構築してまいります。



(無所属)
 たはら よしひろ
田原 義寛 議員

1 美祢市の再生可能エネルギー利用について

問 美祢市における再生可能エネルギーの利用状況についてお尋ねします。

答 本市の公共施設においては、太陽光発電設備では、大嶺中学校、大田小学校、厚保小学校、秋芳桂花小学校の4か所、地中熱空調設備では、秋芳桂花小学校の1か所に設置しています。整備予定の本庁舎及び総合支所につきましては、再生エネルギー導入の可否について、補助事業も含め検討している状況です。

問 災害で大規模停電が発生した際、市内で作られた再生可能エネルギーを地産エネルギーとして優先的に市内で使うことは可能でしょうか。

答 太陽光発電設備を設置している市内公共施設はすべて緊急避難所に指定しています。特に、大田小学校は蓄電池を設置しており、避難所での太陽光発電の利用が可能であると考えています。

問 現在、長門市と本市の市境で、民間業者による風力発電事業が計画されています。これについて市は認識されていますか。

答 そういった計画をされていることは承知しています。環境保全の見地から、市長は県知事に意見を述べることができ、市民の皆様のご意見を尊重するとともに、近隣市と情報交換を行った上で意見を述べたいと考えています。

2 Withコロナの新しい観光のかたちについて

問 美祢市におけるコロナウイルス感染者数についてお尋ねします。

答 令和2年8月1日、本市において1例目となる新型コロナウイルス感染症患者が確認されました。その後、感染者に関連した接触者45名のPCR検査は陰性となっています。

問 県内の小中学校を対象に、本市への修学旅行を誘致する取組についてお尋ねします。

答 コロナ禍において県内小中学校の修学旅行は目的地の変更等を余儀なくされている状況にあります。

そこで、自然に恵まれ、学びの要素が満載の観光地として様々な体験プログラムを用意し、県内教育委員会や旅行会社に対し、誘致活動を行ってきたところです。

問 市内宿泊施設の稼働状況についてお尋ねします。

答 コロナ禍の影響によりキャンセルが相次いでいるところです。

問 宿泊として、秋吉台家族旅行村や、県の施設である秋吉台国際芸術村、秋吉台青少年自然の家などの施設を利用するといったお考えはありますか。

答 県や民間事業者等と連携を含めながら、宿泊者の増加に向けて、PR等働きかけを行ってまいります。

3 コロナ禍における市民の地域活動への支援について

問 市民が活動したり、イベントを開催するにあたって、どのようなガイドラインを設けていますか。

答 本市では、国や県の基準に基づき、イベント開催の目安を定めていますが、実施の判断は主催者をお願いしています。

施設の利用については、各施設のガイドラインを策定しています。

問 市民がこれから、それぞれの地域で活動を行うにあたって、どのような支援をお考えでしょうか。

答 地域で活動される皆様のご意見、ご要望をお聞きしたうえで、環境整備を図っていきたく考えています。



(日本共産党)
三好 睦子 議員

1 新たな食料・農業・農村基本計画 に対する市の取り組みについて

問 政府は、今後10年間の農政の指針となる食料・農業・農村基本計画を閣議決定しました。この基本計画は、食料の安定供給、農業の持続的発展、多目的機能の発揮、農村の振興となっています。

食料の安定供給について、本市の今後の取り組みをお尋ねします。

答 計画では、食料自給率の向上と食料完全保障の確立を図るとしています。

市としては、市内農産物の需要拡大の取り組みとして、市独自の六次産業化推進事業によるブランド育成支援や、グローバルマーケットの戦略的な開拓など、販路開拓のための情報発信に取り組んでいくこととしています。

問 市内での食料供給についてお尋ねします。

答 消費者のニーズに合った食料の安定的な供給のために、国・県あるいは市独自の事業を組み込み、施策を展開していきたいと思っています。

問 農業の持続的発展についてお尋ねします。

答 新たな人材や経営体の確保育成、生産体制の強化のため、集落営農法人等の連携強化による低コスト化の推進、生産基盤の整備と資源の有効活用に取り組んでまいります。

問 家族経営農家の支援についてお尋ねします。

答 持続可能な農業のためには、小規模、あるいは家族農業の存在も不可欠です。

今後、国が打ち出す事業等を注視し、積極的に活用してまいりたいと考えています。

問 多面的機能の発揮についてお尋ねします

答 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、引き続き日本型直接支払事業に取り組んでまいります。

「多面的機能支払」、「中山間地域等直接支払」、「環境保全型農業直接支払」の3事業は、農地を守り、集落や地域を維持する大変重要な取り組みであり、今後も各種団体と連携を図り、官民一体となって事業推進に努めます。

問 農村の振興についてお尋ねします。

答 第一に、生産基盤の強化による収益力の向上等を図り農業を活性化することや、農村の多様な地域資源と他分野との組み合わせによって新たな価値を創出し、所得と雇用を確保すること。

第二に、鳥獣被害対策等の推進など、中山間地域に人が住み続けられるための条件を整備すること。

第三に、地域を支える体制・人材づくりなど、農村を広域的に支える新たな動きや活力を生み出していくこと。

この3つの柱に沿って、施策を総合的かつ一体的に推進したいと考えています。

2 学校給食について

問 学校給食調理場の存続についてお尋ねします。

答 平成29年度に教育委員会で取りまとめた整備方針を基に一部見直しを行い、美祢地域における共同調理場の集約化を図るため、学校給食センターを設置というものになります。

大田調理場や秋吉調理場、嘉万調理場については、しばらくの間、稼働させることとしていますが、児童生徒数の減少に合わせ、順次廃止する予定としています。





(無所属)
いし い かず ゆき
石井 和幸 議員

1 市民への情報提供の徹底について

問 現在美祢市では、広報紙、SNSなど様々なツールを活用し、市民へ情報発信をされていますが、市民の利用状況等、今どのような課題を認識されているのかお伺いします。

答 現在、市政全般や行事、各種施策などについて、広く市民にお知らせするための主なツールとしては、公式ホームページや月1回発行する広報誌「げんきみね」、美祢市有線テレビMYTなどを活用しています。

また、美祢市公式フェイスブック、インスタグラム、YouTubeの美祢市公式チャンネルなどを活用し、美祢市の観光資源やイベント情報、本市の魅力などについて、広く市内外へ情報発信しているところです。

このほか、安全・安心メールを活用し、市民に防災情報をはじめとする市民の安全・安心に関する情報を迅速にお知らせしていますが、その普及が課題であると認識しています。

問 近年、スマートフォンの普及により、多くの自治体が地域の魅力や情報を発信する有力なツールとして、自治体独自のアプリの作成、LINE公式アカウントを取得し活用しています。

若い世代に関心を持ってもらうためにも、新しい情報発信のツールとしてのアプリやLINEの活用についてお伺いします。

答 LINE、ツイッターなどのSNSは、特に若年世代にとってのコミュニケーションツールとしてEメールよりも一般的であり、その活用による情報発信は必要不可欠であり、強化していく必要があると考えています。

情報伝達技術の進展は日進月歩であり、社会情勢の変化に対応した情報発信に努めます。

2 コロナ禍における市政について

問 出口の見えないコロナ禍の中で、市民や事業者に対する支援状況をお伺いします。

答 市民への主な支援として、特別定額給付金があります。

この給付金の対象外となった本年4月28日以降に生まれた新生児に対しても、令和3年3月31日を期限とし、本市独自の施策として同額の給付を開始したところです。

事業者への主な支援としては、市独自の融資制度である「美祢市がんばる企業応援資金融資制度」の限度額及び融資期間を拡充するとともに、3年間の利子補給補助制度を設けました。

また、外出の自粛等により大きな影響を受けた飲食サービス業等事業者を対象に、経営継続に向けた給付金の支給、倒産により失業された方への就職活動支援、国・県制度を活用したIT導入等の支援も実施しています。

さらには、市内消費を喚起し、地域経済の活性化を図る観点から、住宅リフォーム支援事業及び市商工会によるプレミアム付商品券の発行事業へ支援を行いました。

3 重安小学校閉校後の利活用について

問 重安小学校の跡地利用に関し、どのように協議を進めていくのか等、美祢市としての方向性についてお伺いします。

答 重安小学校の閉校が地域の衰退を招くことがないように、保護者や地域の方々にしっかり寄り添い、できる限りの支援をしていきたいと考えています。



万倉の大岩郷（観光資源の魅力発信）



(公明党)

おかやま
岡山 たかし
隆 議員

1 人・環境にやさしいハイレベルな衛生管理体制に関して

問 ウイルス・細菌の除去に有効なハイクロソフト水(微酸性次亜塩素酸水)が、アルコールの代用として、除菌や清掃等に幅広く使用されています。ハイクロソフト水は、アルコールに比べ安価で、大幅なコスト削減が図られます。機能水生成装置の導入について、お尋ねします。

答 ハイクロソフト水による消毒は有効な手段の1つであると承知しています。

除菌性や安全性にメリットを感じる一方、適正な使用を行わないと十分な効果が得られないことや、機器を購入して生成する必要があり、その管理・運用体制の維持など、導入に当たってはいくつかの検討する点があります。

今後、他市の状況、専門家の意見も踏まえて、前向きに検討したいと思えます。

2 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用に関して

問 現在、市役所のパソコンにはカメラが内蔵されておらず、オンライン会議ができません。

本庁と総合支所等を行き来せずオンライン会議ができる回線の通信契約など、デジタルインフラ整備が求められていますが、どのようにお考えでしょうか。

答 本市の行政デジタル化への取組については、効果的にテレワークやウェブ会議が行える環境整備に対する取組が遅れています。

行政のデジタル化は、効率的、効果的な働き方や経費の節減のほか、各分野における市民サービスの向上につながります。

地方創生臨時交付金を活用し、電算システムのネットワーク化やウェブ会議が開催できるように、モバイルルーター購入に係る経費を補正予算計上したところです。

行政のデジタル化の対応は本市の課題の1つと捉えており、今後も着実に取組を推進してまいります。

3 おくやみに関する手続き窓口の一本化並びにエンディングノートの配布に関して

問 家族が亡くなった後、遺族が行う行政の手続きは複数の担当課を回り、その都度窓口伝えていきます。一連の手続きをワンストップでできる特設コーナーの設置について、お伺いします。

答 窓口業務のワンストップ化、各種手続きのオンライン化を図ることが、市民が利用しやすい行政サービスの向上に向けた取組と考えています。

窓口業務の簡素化や特設コーナーの設置、タブレット端末を活用した事務手続等については、新庁舎整備に併せ確実に実施したいと考えており、現時点での窓口業務を改めて検証し、住民の負担軽減につながるよう努めてまいります。

問 いきいきとした生活に必要な「エンディングノート」の配布についてお尋ねします。

答 人生の終末期を迎えるに当たり、どのようなことを希望し、どのような内容を書き留めておきたいかなど、様々なパターンがあると推察します。

一律的なものを配布するよりも、必要と感じておられる方がイメージに合ったものをご自身で入手されることが、納得のいくものではないかと考えています。



ウェブ会議の様子

議会を傍聴してみませんか

美祢市議会では、本会議、委員会を公開しています。

会議の当日、市役所3階議会事務局で、傍聴人受付簿に記入するだけの簡単な手続きで傍聴することができます。

市政のことをよりよく知るためにも、ぜひ、議会の傍聴にお越しください。

< 傍聴の際に守っていただくこと（抜粋） >

- ・傍聴席での飲食、喫煙は禁止です。
- ・声を出したり拍手をしたりしないでください。
- ・許可なく撮影、録音はできません。

【お問合先】 ☎ 759-2292 美祢市大嶺町東分326-1
美祢市議会事務局
TEL:0837-52-1117
FAX:0837-52-1180
MAIL:gikai@city.mine.lg.jp



ランタンナイトウィークの様子



市民の皆さん、ぜひ傍聴にお越しください。

(11月18日(水)議会運営委員会において日程を決定します)

日程	時間	内容(予定)
11月26日(木)	10:00	本会議(初日)
11月30日(月)	10:00	本会議(一般質問)
12月1日(火)	10:00	本会議(一般質問)
12月2日(水)	10:00	本会議(一般質問予備日)
12月3日(木)	9:30	総務企業委員会
12月4日(金)	9:30	教育民生委員会
12月7日(月)	9:30	予算決算委員会
	終了後	新庁舎等建設特別委員会
12月10日(木)	10:00	本会議(最終日)

編集後記

本年最後の議会だよりをお届けする季節となりました。

今年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、イベント等の中止もあり、まだまだ自粛ムードが続いています。1日でも早くコロナが収束し、市民の皆様の日常が元通りになるよう願っています。

これからも、よりよい議会だよりづくりに努めてまいります。ぜひ、皆様のご意見、ご要望をお寄せいただきますよう、よろしくお願い致します。

(石井)

議会だより編集委員会

委員長 三好 睦子
副委員長 山中 佳子
委員 藤井 敏通
// 岡村 隆
// 山下 安憲
// 石井 和幸